

一感謝の気持ちを行動で示します

沖縄県議会議員
(自由民主党)

中川 京貴

キヨキ

議会ニュース

事務所〒904-0204 嘉手納町水釜6丁目10番7号

TEL 098-956-9731

<https://kaiha-okinawajimintou.com/>

会派 沖縄・自民党

ホームページをご覧下さい。

沖縄県議会

vol.22

〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3
沖縄県議会棟603号

TEL.098-866-2754

FAX.098-866-2773



沖縄県総予算約8682億円過去最高額 国の沖縄予算は2679億円!経済危機を乗り越え県民生活を守る



令和5年2月 一般質問



令和4年7月 一般質問

読谷村大湾交差点
令和4年12月 一般質問北谷町白比川河川
令和4年12月 一般質問

令和5年2月 一般質問

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から大変お世話になり厚くお礼申しあげます。この度4期15年を迎えて活動を継続するに至りましたのでご一読頂ければ幸いでございます。

沖縄県の二〇二三年度の一般会計当初予算案八六八二億円過去最大規模。特別会計二五八五億円、国の沖縄振興予算案二六七九億円。そのうち国が市町村に直接交付する沖縄振興特定事業推進費5億円増の85億円。使途の自由度が高く県や市町村から増額要望の強い一括交付金は3億円減の七五九億円で9年連続の減額。政府は同日23年度税制改正大綱も決定。航空機燃料税は沖縄路線を本則特例の2分の1に軽減する措置を5年延長。主要事業では道路や空港など社会資本を整備する公共事業関係費一二六二億円計上。都市公園事業47億円を充て火災で焼失した首里城正殿の復元に向けた工事に取り組む。

昨年(令和4年)復帰50周年式典も無事終え、新たに第6次沖縄振興計画がスタート致しましたが、県経済は未だコロナ禍の影響もあり、自立には、ほぼ遠く県民所得も全国で最も

立県を立ち上げ、IT産業(情報技術)など新産業の育成による稼げる経済構造、物づくりや農林水産業・加工業・製造業を増やし、足腰の強いバランスの取れた産業構造を作り、自立型経済を目指すため、土地利用計画の規制緩和と物流道路網の整備、特例特区制度の拡充を一括的に取り組み、中部の活性化はもちろん離島や沖縄県全体の均衡発展に向け、令和5年度は「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の取り組みを加速させ、誇りある豊かな沖縄の未来につなげていく重要な年であります。県民の命と暮らしを守るために感染症対策と県経済の復興・再生と恒久平和を願い、沖縄の未来への投資と支援、安心・安全に暮らせる沖縄県づくりに全力で取り組みます。

「私の政策である本土と沖縄の格差を無くすためには資源の乏しい本県において教育と人材育成こそが沖縄の最大の振興策であります。」

どうぞこれからも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

中川京貴

大型MICE施設の実現に向け

西原町へのモノレール延長・マリーナを活用したクルーズ船・高速船を含む公共交通システム 那覇から直接西原町へ二次交通 海のタクシー



高速船を活用した二次交通 海のタクシー



与那原マリーナ

問 県内社会資本整備について大型MICE建設の実現に向けては与那原町及び西原町内中城港湾マリンタウン地区の東海岸エリア一帯に発展の勢いを創出する目的の大型事業であります。私ども自民党会派が仲井眞県政の頃、国と協議を整え一括交付金や高い高率補助を活用した大型MICE事業に推進してきたが翁長・玉城県政になり国との確認、協議を調べることなく見切れ発車をして約69億円で土地を購入した。その結果、国との信頼関係は完全に崩れてしまった。

答 文化観光スポーツ部長

当時の計画ではMICE施設を沖縄振興特別推進交付金を活用して整備するという前提で、これまでの調整で活用見込みがあるということです。

問 国との協議を調えず約69億円それも単費で購入したのはなぜか。

MICE事業に推進してきたが翁長・玉城県政になり国との確認、協議を調べることなく見切れ発車をして約69億円で土地を購入した。その結果、国との信頼関係は完全に崩れてしまった。

問 国との協議を調えず約69億円それも単費で購入したのはなぜか。

MICE事業に推進してきたが翁長・玉城県政になり国との確認、協議を調べることなく見切れ発車をして約69億円で土地を購入した。その結果、国との信頼関係は完全に崩れてしまった。

問 国との協議を調えず約69億円それも単費で購入したのはなぜか。

MICE事業に推進してきたが翁長・玉城県政になり国との確認、協議を調べることなく見切れ発車をして約69億円で土地を購入した。その結果、国との信頼関係は完全に崩れてしまった。

大型MICE施設については中核となる展示場の面積は採算性等を踏まえて当初計画から三分の一となる約一万平方メートルに縮小、民間事業者の投資を利用するPFIを取り入れ、開業から12年目までに年間催事開催223件98万人を誘致し経済効果は551億円を見込む。

県大型MICE新計画案

多くの地域の期待が有ります。予測される交通渋滞対策の為にもモノレールを活用した高速船等、課題は山積みですが、国の高率補助を受け一日も早い事業開始をすべきである。

沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業 (基本計画・令和4年8月)

収容人数	最大1万人
展示場	1万平方メートル
多目的ホール	約7500平方メートル 20~30室
会議室	5万平方メートル (2000台)
駐車場	223件
MICE 開催回数	98万人
来場者見込み	約7000人
雇用効果 経済効果	551億円(直接352億円・間接199億円)
大型MICE 施設整備費	350億円(令和3年6月時点)
土地購入費	約69億円

県では鉄軌道導入を前提としたフィーダー交通検討の観点から平成30年度及び令和3年度にモノレール延伸の効果等について調査を行った。この結果、西原町を含む5つのルート全てで移動時間の短縮や公共交通全体の利用者増はあるものの採算性等の課題が確認されております。地域公共交通の充実に向けては本島の圏域ごとに議論の場を設定しモノレールを含め幅広く検討。

問 社会資本整備を進めるに当たって県土の有効利用と自然景観・保全の調和を図りながら鉄軌道を含めた陸上交通網体系を構築する必要があるが現在の進捗状況と県の基本的な考え方(那覇市、浦添市、西原町においてはモノレールや鉄軌道、LRT(次世代型路面電車システム)大型MICE施設の実現に向けた西原町へのモノレールを含む公共交通システムについて

問 社会資本整備を進めるに当たって県土の有効

利用と自然景観・保全の調和を図りながら鉄軌道を含めた陸上交通網体系を構築する必要があるが現在の進捗状況と県の基本的な考え方(那覇市、浦添市、西原町においてはモノレールや鉄軌道、LRT(次世代型路面電車システム)大型MICE施設の実現に向けた西原町へのモノレールを含む公共交通システムについて

答 土木建築部長

小波津川は平成15年度に事業着手し令和10年度完了予定で全体事業費は約85億円、整備延長3.8kmのうち河口部から西原町役場付近までの約1.8kmが既成しており、その区間においての通水断面は概ね確保、今後も西原町と連携を図りながら浸水被害の軽減に向け早期整備に取り組む。

小波津川の台風や集中豪雨による洪水被害から地域住民を守れ

小波津川は、西原町の池田に端を持つ。源流から流れた後、県道38号線付近を流れる。国道329号線を横断して東崎馬リンタウン地区へ入り国道329号と那原バイパスを横断して中城湾に注ぐ。



西原町小波津川河川氾濫(ネットで検索できます)



サンエー西原シティ前・令和4年5月31日

小波津川の河川氾濫によりサンエー西原シティ前の国道329号線が冠水のため通行規制され大渋滞となつた一日も早い、小波津川の改修事業が必要



西原町平園地区勉強会 小波津川事業住民説明会 平園公民館 中部土木河川都市班 平成27年9月15日

問 西原町小波津川の氾濫で周辺地域の住民に多大な損害を与えており、管理者として県の対応と責任について

答 土木建築部長

西原町小波津川の氾濫で周辺地域の住民に多大な損害を与えており、管理者として県の対応と責任について

国道58号線 読谷村 大湾交差点と県道16号線古堅 給油所前交差点は喫緊の課題 交通安全・渋滞対策をはかれ



国道58号線大湾交差点、名護から嘉手納向けの渋滞は喫緊の課題です。牧原線拡幅工事として令和5年2月11日に村道比謝牧原線大湾大橋が開通され多くの利用者が喜んでいます。その対策として古堅向け県道16号と左車線にあと一車線道路整備する事で読谷牧原線の渋滞緩和になります。

また県道16号線古堅給油所前から国道58号大湾交差点に出るために朝夕、信号機が何度もかわっても国道に出ることが出来ないと住民から苦情があつた。その対策として大湾交差点を名護向け道路、直進する嘉手納町口一タリー向けにあと一車線の道路が必要。

大湾交差点の渋滞対策は喫緊の課題だと考えるが県の見解について

答 土木建築部長

国道58号読谷村から嘉手納向け大湾交差点の渋滞対策は喫緊の課題だと考えるが県の見解について

大湾交差点については村道牧原線の渋滞対策推進協議会において主要渋滞箇所として特定され国道側の渋滞対策については県道と村道の渋滞対策の整備効果を検証のうえ今後、必要な対策を検討。

問 国道58号読谷村から嘉手納向け大湾交差点の渋滞対策は喫緊の課題だと考えるが県の見解について

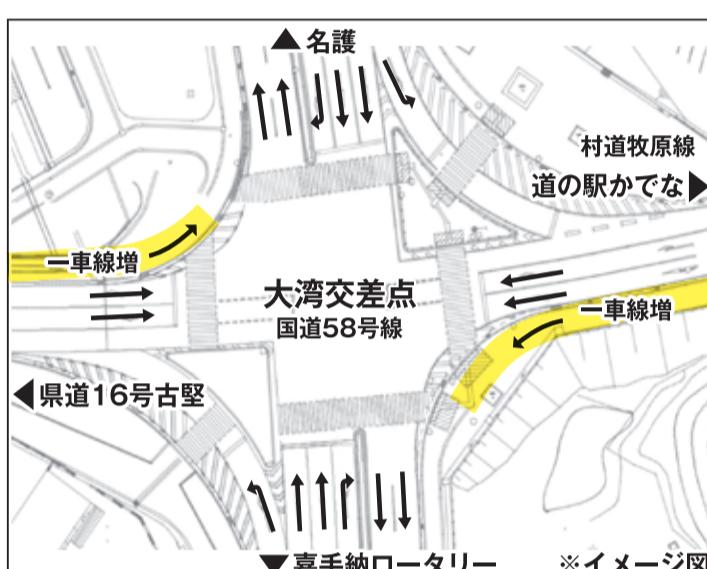
答 土木建築部長

現時点、読谷村道側の道路に右折専用車線がない構造、そういう箇所で右折矢印信号機を運用すると円滑な交通環境が阻害される、今後、村道の道路管理者である読谷村とも連携をして対応を考える。

古堅南小学校方面から大木向けの右折帯を平成30年度に設置しております。現在、設置後の交通状況を確認しています。その後は県警や読谷村等関係機関と連携を図りながら必要な対策を検討。今後は矢印信号機がついていなかったり、その安全対策について

答 鎌谷警察本部長

現時点、読谷村道側の道路に右折専用車線がない構造、そういう箇所で右折矢印信号機を運用すると円滑な交通環境が阻害される、今後、村道の道路管理者である読谷村とも連携をして対応を考える。



50年来の願い 北谷町・白比川の 洪水被害から地域住民の命と財産を守れ 北谷町議員団から陳情を受ける平成24年4月21日



台風・豪雨により氾濫(平成24年)



白比川河川沿いに安全対策として歩道設置



白比川河川（白比橋 令和5年3月）

北谷町白比川拡幅工事については当時の仲井真知事が現場に行き約50年も氾濫で苦しんでいた地域住民の切実な声を聞いた。また宮崎衆議院が小野寺防衛大臣に現場調査を依頼し北谷町と共に予算化したものであります。冠水被害から住民の安全と財産を守るのは行政と政治の責任であります。これからも全力で取り組みます。

問 北谷町白比川河川拡張工事の進捗状況及び完了時期、総予算について

答 土木建築部長

平成13年度から事業に着手しており令和8年度完了予定、全体事業費は約29億円

問 北谷町白比川河川拡張工事について

答 土木建築部長

平成31年4月に北谷町と協定書を締結しております。今後、河川改修と並行して歩道が設置できるよう北谷町と連携を図っていきたい。

白比川河川改修事業の概要

事業名：白比川河川改修事業
事業種別：総合流域防災事業
事業期間：H13～R8 (R5)
総事業費：2,932百万円 (1,812百万円)
事業量：1,000m



平成25年9月7日
中川京貴が、小野寺防衛大臣と宮崎衆議院議員に対しこれまでの北谷町白比川の冠水被害などの状況説明をする

